

自治会・町内会運営状況等アンケート結果

令和2年1月に、自治会等の活動内容など、実態を把握するためのアンケートを実施しました。その結果について、主なものを掲載します。

調査対象：明石市内の自治会等 477 団体
 調査期間：令和2年1月10日～令和2年1月31日
 調査方法：郵送調査（調査票郵送・回収、調査対象者自記入）
 調査内容：自治会等の活動内容や課題、自治会長業務の実態等
 回収率：調査票回収数 374 票／有効回収率 78.41%

※平成27年3月にも同様の調査を実施しているため、結果を比較しているものもあります。

◆自治会加入率 ※不明、無回答除く

区分	令和2年 1月 (n=367)	平成27年 3月 (n=359)	
90%以上	228	247	-19
70～90%未満	95	73	+22
50～70%未満	22	26	-4
50%未満	22	13	+9

◆会議の開催状況（複数回答あり）

総会	343
役員会	303
部会	60
その他	79

その他の回答としては、“隣保長（班長）会”“理事会”や、少人数での“会長・副会長会”“三役会”の回答が多かった。

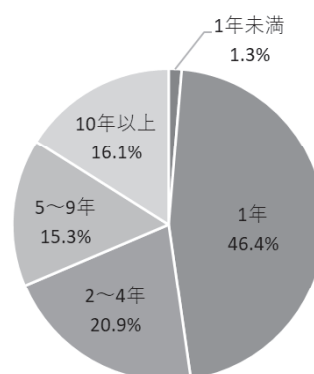
また、お祭り等行事の実行委員会のほか、マンション自治会では管理組合との連絡会を開催しているところもあった。



◆自治会長経験年数 (n=373)

※不明、無回答除く

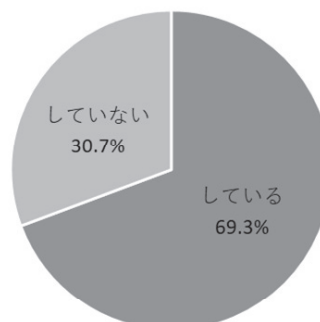
“1年”と回答した自治会が半数近くを占める結果となった。



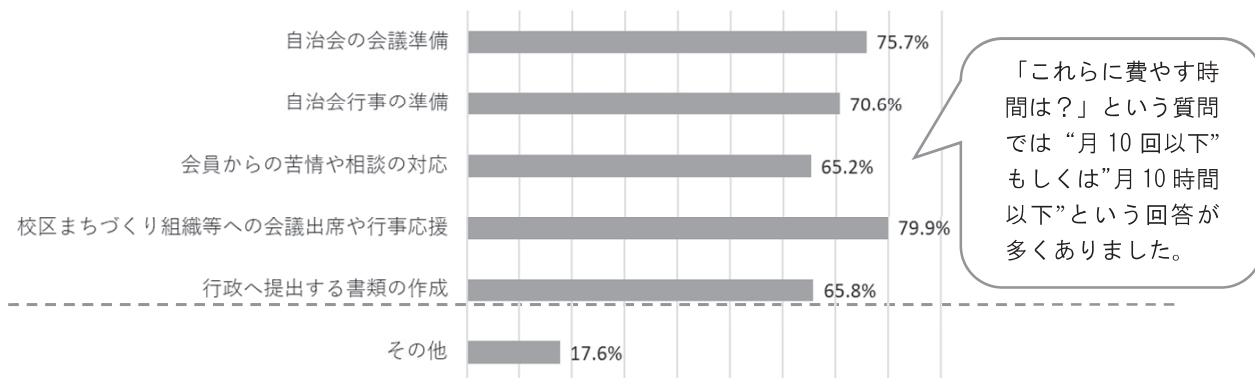
◆広報活動の取り組み (n=300)

※不明、無回答除く

半数以上の自治会等が広報活動をしていると回答。そのうち、ほとんどが広報活動の方法として、総会議事録の回覧（配布）と回答。また、それに加えて100近くの自治会等は広報紙も発行しているという結果となった。

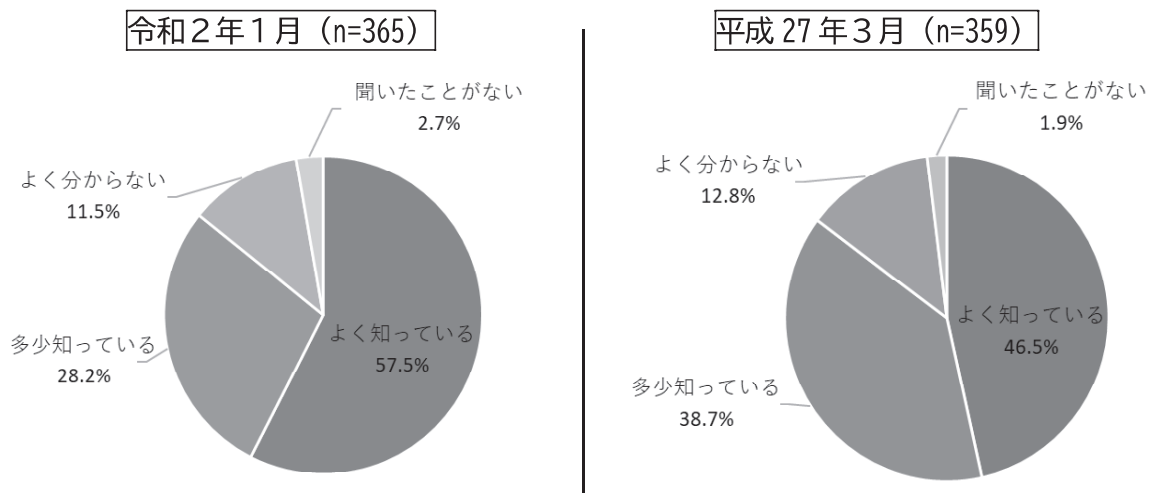


◆自治会長として担う役割 (n=374) (複数回答あり)



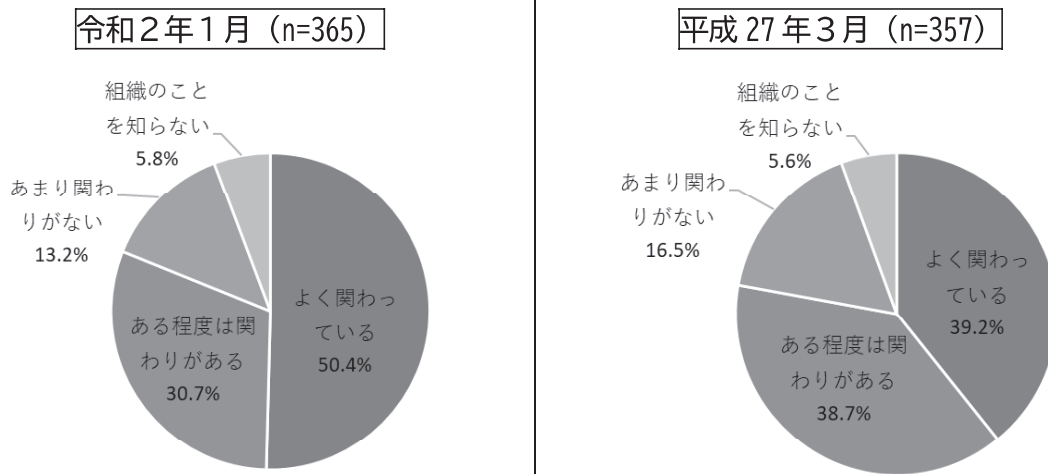
◆明石市の「小学校区単位のまちづくり」の認知度 ※不明、無回答除く

平成 27 年調査分と比較すると、“よく知っている”と回答した自治会等は全体割合で見ると 1 割程度増加していることが分かる。



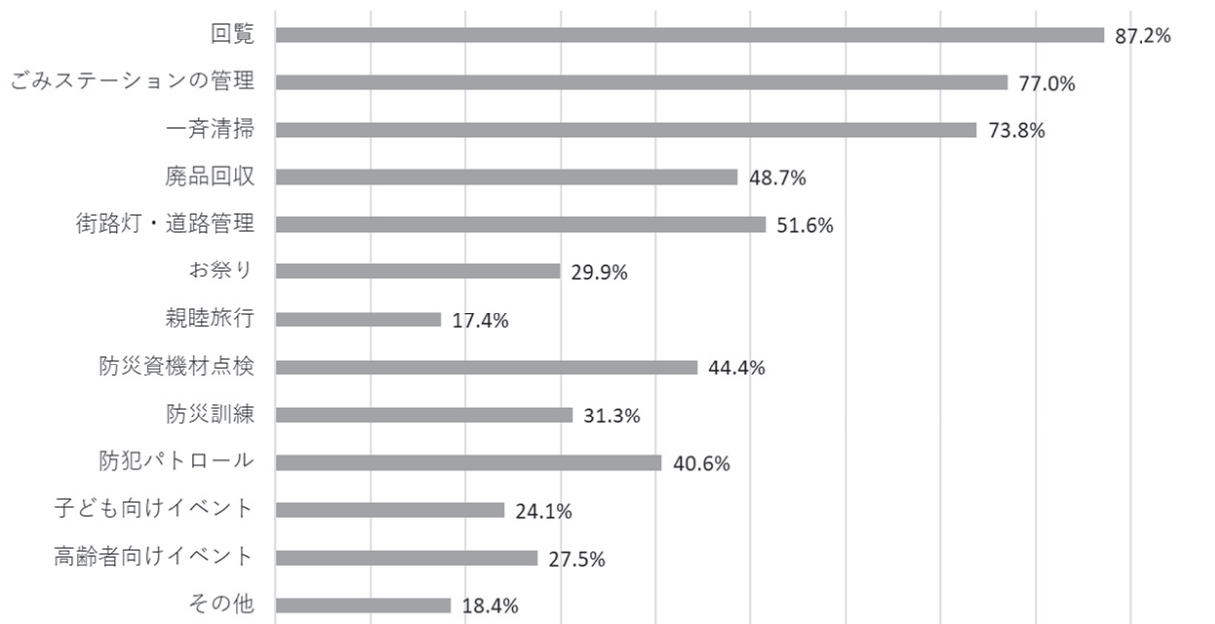
◆校区まちづくり組織との関わり ※不明、無回答除く

(16)と比例して、“よく関わっている”と回答した自治会等は全体割合で見ると 1 割程度増加していることが分かる。

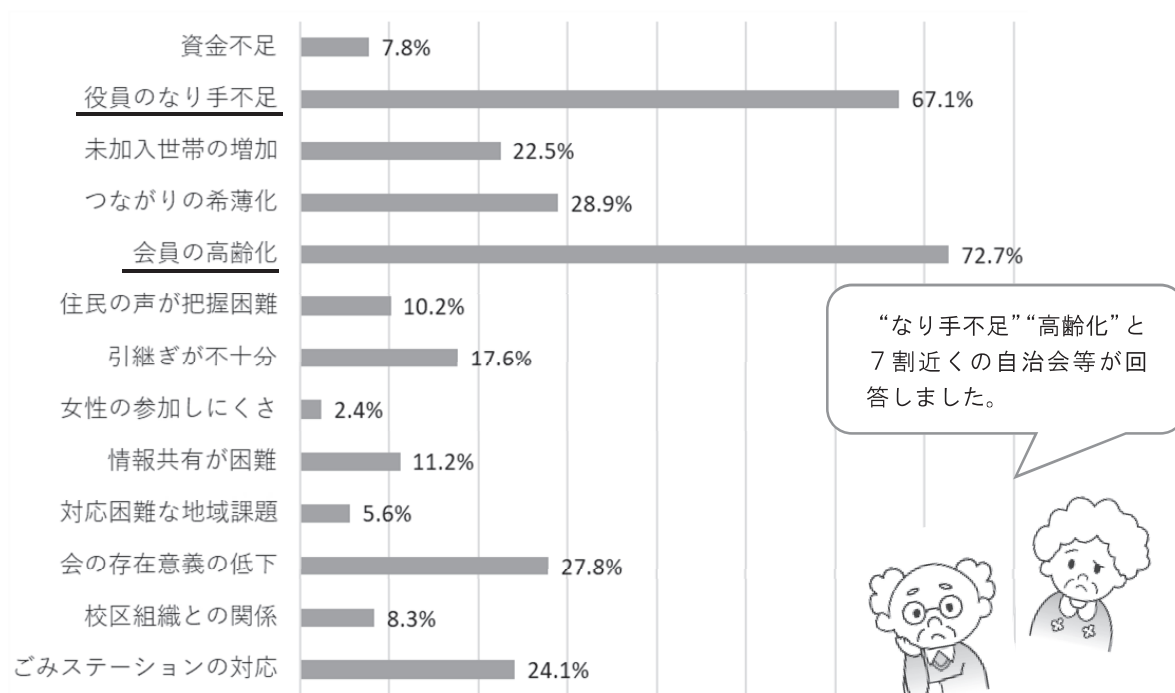


◆自治会単独で実施している取り組み（n=374）（複数回答あり）

その他の回答が多かったのは“懇親会”“人権研修会”“敬老会”で、次いで、“公園の管理・清掃”“ふれあいサロン”などが続く結果となった。また、運動会やもちつき、お花見会やクリスマス会など季節を感じる交流事業の回答もあった。

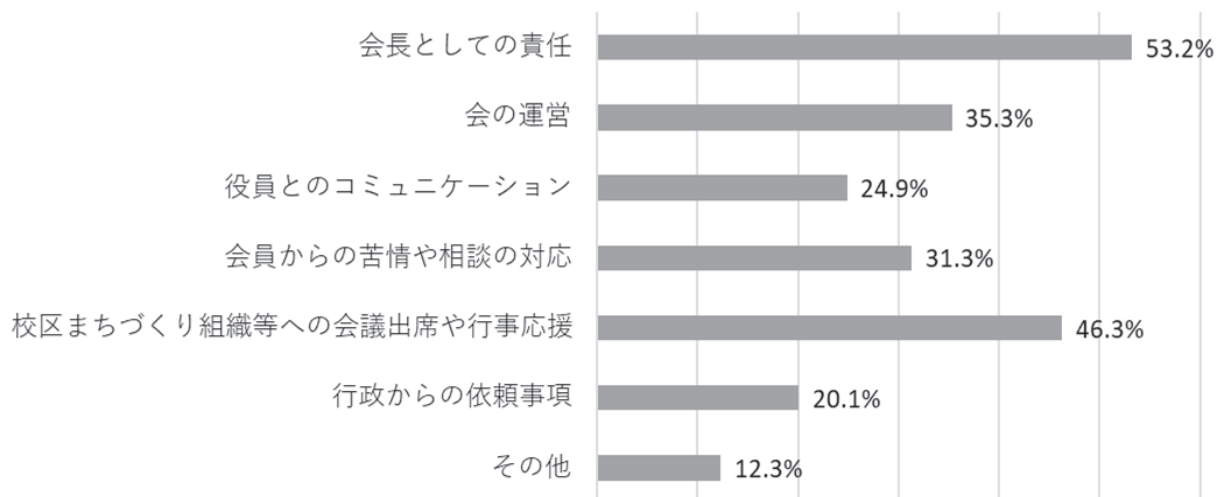


◆自治会等で特に抱えている問題、課題（n=374）（複数回答あり）



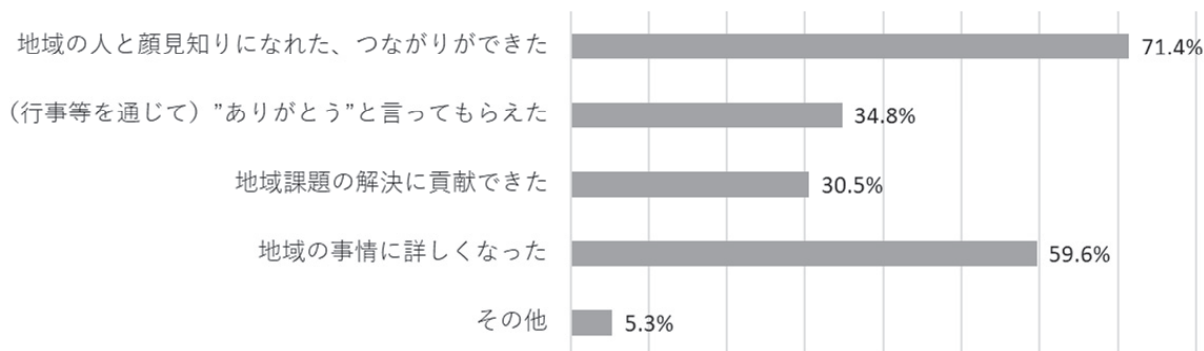
◆自治会長として負担に思うこと（n=374）（複数回答あり）

“会長としての責任”“校区まちづくり組織への会議出席や行事応援”を負担と回答した自治会等は約5割だった。また、その他では、“仕事との両立”という回答が最も多かった。



◆自治会長をして良かったと思うこと（n=374）（複数回答あり）

約7割の自治会等が、地域の人と顔見知りになれた・つながりができて良かったと回答した。その他の回答としては、“自分自身の知識が増えた”“地域の役に立てていると感じる（生きがい）”などだった。



より詳しいアンケート結果のまとめは明石市ホームページからご覧いただけます。

コミュニティ・生涯学習課（078-918-5004）